

第16期 通常総会

と き 令和2年5月22日（金）
午後2時～

ところ 津島市立図書館 2階小集会室

特定非営利活動法人まちづくり津島

特定非営利活動法人まちづくり津島

令和元年度事業報告

1 NPO法人まちづくり津島の目的

- (1) NPO法人まちづくり津島は、まちづくりに関する調査研究、政策提言、相談や助言、研修、知識の普及や情報発信、人材交流及びネットワーク促進事業及び指定管理者事業を市民、行政、企業の協働のもとに行う。
- (2) 市民主体のまちづくりの推進役となる。
- (3) 海部地域の豊かな暮らしの実現と中心市街地の活力の再生に寄与する。

2 指定管理業務「図書館」事業

2-1 津島市立図書館 指定管理業務の受託・充実

- (1) 令和元年には、2年～5年の図書館指定管理者の選定があり、図書館事業計画を充実させ、2年度以降も指定管理者に指定されるよう注力した。審査の結果、指定管理者を受託した。
- (2) 図書館イベントの実施
図書館未利用者へのPRや図書・地域資料などの紹介を目的とした、コンサート、子育て支援、文化講演会など各種イベントを実施した。関係機関や住民と連携し、地域の魅力を掘り起こすことも目的とする。
- (3) 子どもの読書・文化振興
児童イベントの質的向上、「学年別おすすめ本」発行
- (4) 地域文化コレクションの整備・充実
- (5) 読書奨励事業

2-2 愛西市中央図書館 指定管理業務の受託・充実

市民の学びや知識交流の場としての図書館機能を充実させ、市民の文化発信・文化創造を支援する図書館をめざす。

- (1) 令和元年には、2年～6年の図書館指定管理者の選定があり、図書館事業計画を充実させ、2年度以降も指定管理者に指定されるよう注力した。審査の結果、指定管理者を受託した。
- (2) 利用しやすい いつでも、誰でも、気軽に訪れ利用しやすい図書館
- (3) 楽しい 新たな知と文化に出会うことの楽しさを提供する図書館
- (4) 学べる 調べものや生涯学習を支援し、市民が交流できる図書館
- (5) 地域情報の拠点 地域の歴史文化を学べる講座や展示が充実した図書館

2 まちづくり基本方針

- (1) NPO法人まちづくり津島の特徴である歴史文化を活かした「まちづくり」事業等を行うとともに、「信長の台所津島・まちあそび」等の事業リーダーの若返りを図る。
- (2) 指定管理者「図書館」を拠点とした「まちづくり」事業を積極的に展開する。
- (3) 津島の「まつり」の集客力を高める事業を行う。
- (4) まちづくり事業を津島商工会議所、観光協会などの組織・団体と協働して実行する。

令和元年度津島市立図書館 文化情報・読書奨励事業報告

(1) 文化情報 講座・行事等

※は登録者数

講座名	講師	日程・内容	人数
津島（郷土史）講座	園田俊介①⑨ 津島市立図書館長 石田泰弘氏② 愛西市佐織公民館長 長谷義隆氏③ 尾州有楽流茶道家 浅井厚視氏④ 前津島市立南小学校長 松浦由起氏⑤ 豊田工業高等専門学校名誉教授 黒田剛司氏⑥ 天王文化塾頭 大橋忠彦氏⑦ 津島ガイドボランティア会長 真友会⑧ 雅楽演奏グループ	4/20(3)、4/21(3)、7/14、9/29、 2/15 ①海部津島の「藤」とその由来 ②道中記からみる宮・桑名の交通 ③知られざる織田家の茶道 ④学校日誌にみる海部津島災害誌 ⑤「武功夜話」桶狭間の戦い ⑥海部地方 小正月行事 管粥神事 ⑦尾張津島天王祭 直前講座 ⑧雅楽の楽しみ方 ⑨佐屋路の歴史と今昔風景	402 人
古文書講座	黒田剛司氏 天王文化塾頭	4/14、5/26、6/23、7/21、8/25、 9/22、10/27、11/24、12/22、1/26、 2/23 津島の古文書	※28 人
古典文学講座	中西達治氏 金城学院大学名誉教授	5/10、6/14、7/12、9/13、10/11、 11/8、12/13、1/10、2/14 『平家物語の世界を読む』	※47 人
ボールペン画講座	吉田栄介氏 日本ボールペン画協会	4/11、4/25、5/9、5/23、6/13、 9/12、9/26、10/10、10/24、11/28 12/12、12/26、1/9、1/23、2/13 2/27 ボールペン画	※14 人
ボタニカルアート入門 講座	伊藤みゆき氏 日本園芸協会ボタニカルア ーティストの会	5/6、6/3、7/1、8/5、9/9、10/7、 11/4	※12 人
学習支援	服部光成氏 元・愛知県庁職員	8/12、8/19、8/22、8/26、8/29、 10/26、11/23、12/28、1/25、2/22	61 人
図書館秋の演奏会	ソプラノ：中田淳子氏 箏：鶴見真弓氏 ピアノ：安田有沙氏	11/16 ソプラノ・箏・ピアノ（キー ボード）のアンサンブル	182 人
法律情報講座	木全梨絵氏 庄司法務事務所弁護士	12/7 やさしい遺産相続・遺言のはなし	20 人

(2) おはなし会等の行事

	行事名	日時・期間等	参加者
1	春の子ども読書週間	4/27、4/28、5/12	36人
2	秋の読書週間	10/26、10/27	21人
3	おはなし会	毎月第1・2・4土曜日(22回) ※毎月第1土曜日は「まろんmama」	445人
4	ざっくざっくのおはなし会 (ストーリーテリング)	4/21、10/20、12/22、2/16	21人
5	朗読会	8/4 ※朗読グループ空缶	28人
6	おはなしにこにこ	毎月第1・3木曜日 ※赤ちゃんのためのおはなし会	372人
7	神守のおはなしにこにこ	毎月第3火曜日 ※赤ちゃんのためのおはなし会	67人
8	神守のおはなし会	毎週日曜日	280人
9	英語のおはなし会	4/20、5/18、6/15、7/20、8/17、9/21、10/19、 11/30、12/21、1/18、2/15	364人
10	神守折り紙教室	毎週日曜日	561人
11	図書館折り紙教室	毎月第2・4土曜日	278人
12	たなばた会	7/6	44人
13	クリスマス会	12/14	120人
14	ダンボール工作会	8/3	37人
15	灯籠工作会	8/24	29人
16	老松シネマ(映画会)	8/13、8/14、8/15	68人
17	大人の映画会	8/25	48人
18	リサイクル絵本・児童書譲 渡会	5/17-26	40人
19	本のリサイクル	6/8~24、11/23~12/9	

(3) 見学・体験

	行事名	日時・期間等	参加者
1	津島市立南小学校社会見学	5/17	76人
2	津島市暁中学校職場体験	6/11-13	9人
3	神島田保育園園外保育	6/24、7/22、8/26、9/30、10/21、 11/25、12/23	175人
4	津島市立神島田小学校社会見学	6/28	68人
5	教職員10年目社会体験研修	7/29-31、8/7-9 (津島市立藤浪中学校・いなざわ特別 支援学校)	2人
6	1日図書館員	8/1-2、5-7	20人
7	藤浪中学校職場体験	10/16-18	3人
8	津島市立西小学校社会見学	10/29	71人

(4) 館内展示

月次	展示名	内容
6月	江戸時代の津島浮世絵展 -『津島の浮世絵版画』刊行を記念して-	江戸時代中期から明治期まで津島で作られた版画・浮世絵を各地から収集し、『津島の浮世絵版画 - 江戸・明治期の津島版画集成』として津島市立図書館から刊行。これを記念して展示資料1点、パネル47枚で紹介
8月	尾張津島お月見灯路展	「尾張津島お月見灯籠」に先立ち、名古屋芸術大学の学生によるデザインを施した「あかり」作品、「作って飾ろう!! お月見灯籠」で製作された作品を展示
9月	伊勢湾台風60年展	伊勢湾台風の被害から60年。当時の状況と、これからの対策を考える一助として、津島を中心とした台風被害(浸水)の写真をパネル39枚で紹介
10月	第3回ボタニカルアート展	図書館の植物画企画展に際し、伊藤みゆき氏によるボタニカルアート作品15点を紹介。また、当館で開講した「ボタニカルアート入門講座」を受講された生徒さんの作品も展示
1月	図書館で観る日本刀展 ～刀の魅力を探る～	ここ数年盛り上がりを見せる刀剣ブーム。図書館でも、本物の日本刀一振り、日本刀の種類や有名な製作者などをパネル38枚で紹介



江戸時代の津島浮世絵展



伊勢湾台風60周年展



尾張津島お月見灯路展



第3回ボタニカルアート展



図書館で観る日本刀展

(5) 図書館記事 (日付順)

令和元年度 主な図書館記事の掲載一覧 (日付順)

	新聞名、掲載年月日	記事タイトル
1	中日新聞. 2019. 4. 10	元号 古銭で振り返る 津島市立図書館 「寛永通宝」など40種展示:津島市立図書館にて「古銭からみる元号」展を開催:「令和」改元に合わせ、日本や中国の元号銭約40種類を展示し、元号の意味や時代背景も紹介
2	朝日新聞. 2019. 5. 1	元号に刻まれた貨幣が40種類 津島で企画展:元号が「平成」から「令和」に変わるのに合わせ、津島市の津島市立図書館で、元号が刻まれた貨幣を集めた企画展「古銭からみる元号」を開催
3	朝日新聞. 2019. 6. 6	色鮮やか 津島版画文化の盛衰 市立図書館・NPO 法人 資料集を刊行:江戸から明治にかけて、愛知県の津島で盛んだった浮世絵版画を集めた資料集『津島の浮世絵版画 ー江戸・明治期の津島版画集成ー』を紹介
4	中日新聞. 2020. 1. 17	津島にあった輝く備州の刀 市立図書館で展示:刀剣に興味を持ってもらおうと、実物の日本刀や刀の種類などを紹介する企画展「図書館で観る日本刀」が津島市立図書館(津島市老松町)で開催

(6) その他 主な報告事項

- 5月1日、『津島の浮世絵版画 江戸・明治期の津島版画集成』を津島市立図書館から発行
- 5月6日、尾張部都市教育長協議会研修会にて当館職員が津島祭礼図屏風について講演
- 6月8日、中日新聞 [特集] の津島新聞記事に、当館からの解説が掲載
- 6月22日、中日新聞 [特集] の蟹江新聞記事に、当館所蔵の資料を提供
- 7月8日、広報かにえ「まちから8月号」の表紙写真に、当館所蔵の資料を提供
- 7月9日、津島市老人クラブ連合会にて当館職員が「日本の元号を振り返る」と題し講演
- 8月2日、清林館高校生のプロジェクトマップに当館所蔵の資料を提供
- 9月7日、日本建築学会東海支部都市計画委員会主催のシンポジウムにて「津島市立図書館における地域資料収集とその活用～歴史を活かしたまちづくり事業の支援～」と題し当館職員が講演
- 10月2日、愛知県退職公務員連盟の研修会にて当館職員が「海部津島と明治維新」と題して講演
- 10月4日、中日新聞記事「伊勢湾台風60年 根石残し消えた大鳥居」に当館所蔵の資料を提供
- 10月29日、第5期図書館指定管理者として「NPO法人まちづくり津島」が継続選定
- 11月13日、第21回図書館総合展にて「津島市立図書館における地域資料を活用した取り組み」と題し講演
- 11月23日、中日新聞 [特集] の津島新聞(津島麩)に、当館からの解説が掲載
- 11月29日、津島ロータリークラブにて「伊勢湾台風～60年前の水害を振り返る」と題し講演
- 11月30日、津島市老人クラブ連合会による「伝承の館まつり」にて当館職員が出展協力
- 12月4日、『日経BP』に第21回図書館総合展に関する記事(当館の報告を含む)が掲載
- 12月6日、愛知県図書館との連携事業「二度目の旅は図書館から もう一つの東海道-佐屋路を歩く-」に当館が展示協力
- 3月3日～31日、新型コロナウイルスの感染拡大状況を防ぐため臨時休館

令和元年度 愛西市中央図書館 文化情報・読書奨励事業報告

(1) 行事等実施状況

開催日時	行事名	参加人数	実施内容（関係団体用）
4月12日	とんがりぼうし おはなし会	2名	定例おはなし会
4月13日	とんがりぼうし おはなし会	4名	定例おはなし会
4月17日	ボールペン画講座	16名	ボールペンだけで描く講座 (講師：吉田 栄介氏)
4月20日～5月12日	こども読書週間	372名	図書館deビンゴ プレゼント配布
4月28日	季節を楽しむ俳句短歌教室	17名	初心者向けの俳句短歌教室 (講師：相原 利沙 氏)
5月10日	とんがりぼうし おはなし会	2名	定例おはなし会
5月11日	とんがりぼうし おはなし会	5名	定例おはなし会
5月15日	ボールペン画講座	13名	ボールペンだけで描く講座 (講師：吉田 栄介氏)
5月26日	『戦国時代へタイムスリップ！秀吉と家康の講和へと繋げた大野城址を訪ねる』（まち歩き）	57名	市内名所・旧跡を巡り、図書館資料案内をする。
5月29日	ボールペン画講座	13名	ボールペンだけで描く講座 (講師：吉田 栄介氏)
6月5日	ボールペン画講座	14名	ボールペンだけで描く講座 (講師：吉田 栄介氏)
6月8日	とんがりぼうし おはなし会	7名	定例おはなし会
6月15日	工作会「メッセージカードをつくろう」	21名	動物モチーフのメッセージカードづくり（講師：阿部 歩 氏）
6月23日	季節を楽しむ俳句短歌教室	13名	初心者向けの俳句短歌教室 (講師：相原 利沙 氏)
7月7日	親子で楽しむ たなばた会	40名	七夕の本の読み聞かせ+工作会
7月12日	とんがりぼうし おはなし会	14名	定例おはなし会
7月13日	とんがりぼうし おはなし会	4名	定例おはなし会
7月13日	歴史・文化講座『愛西市の小学校の歴史』	37名	歴史写真集発行記念としての歴史・文化講演会（講師：浅井 厚視 氏）
8月7日	夏休み子ども映画会	68名	『おしりたんてい』の視聴
8月10日	とんがりぼうし おはなし会	12名	定例おはなし会
8月14日	夏休み子ども映画会	24名	『さらばまったりの日々よ』（おじゃる丸スペシャル）の視聴
8月18日	親子で楽しむ こんちゅう切り紙 工作会	27名	親子でこんちゅう切り紙を作る (講師：上田 薫 氏)
8月21日	夏休み子ども映画会	22名	『新ざわざわ森のがんこちゃん』の視聴

開催日時	行事名	参加人数	実施内容（関係団体用）
8月20日～23日	夏休み子ども1日図書館員体験	8名	抽選で当選した8名が図書館の仕事を経験
8月25日	季節を楽しむ俳句短歌教室	15名	初心者向けの俳句短歌教室 （講師：相原 利沙 氏）
8月28日	夏休み子ども映画会	41名	『さんねんないきもの事典』の視聴
9月4日	ボールペン画講座	12名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
9月8日	あいさい講座『伊勢湾台風による学童避難』	55名	伊勢湾台風から60年。地域の学童の避難やその時の様子を講演 （講師：大同大名誉教授 久保田 稔氏）
9月13日	とんがりぼうし おはなし会	5名	定例おはなし会
9月14日	とんがりぼうし おはなし会	6名	定例おはなし会
9月14日	お月見とうろう工作会	24名	図書館協力で、とうろうを作成 （尾張津島お月見とうろう実行委員会主催）
9月18日	ボールペン画講座	10名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
10月5日	ふれあい音楽会	78名	演奏家『アンダンテ』による音楽コンサート
10月14日	ハスの工作会	30名	蓮台を使ったカメの工作会 （講師：大河内 裕恵 氏）
10月16日	ボールペン画講座	13名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
10月26日	秋の読書週間特別イベント『ハロウィンバスケットをつくろう』	43名	秋の読書週間イベント工作会
10月26日	季節を楽しむ俳句短歌教室	12名	初心者向けの俳句短歌教室 （講師：相原 利沙 氏）
11月2日～3日	図書館まつり	4,063名 (入館者数)	読み聞かせ・1日図書館員体験・ラミネート体験・工作・ボールペン画作品展・高校生読み聞かせ会
11月6日	ボールペン画講座	12名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
12月4日	ボールペン画講座	12名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
12月13日	とんがりぼうし おはなし会	3名	定例おはなし会
12月14日	とんがりぼうし おはなし会	6名	定例おはなし会
12月18日	ボールペン画講座	11名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
12月21日	クリスマス☆コンサート	78名	子どもと大人の朗読コンサート （出演：こどものとなり）

開催日時	行事名	参加人数	実施内容（関係団体用）
12月22日	季節を楽しむ俳句短歌教室	11名	初心者向けの俳句短歌教室 （講師：相原 利沙 氏）
1月4日	新春シネマin図書館	27名	大人向け映画上映会 『きみまる エキサイティングラ イブ』
1月5日～	本の福袋貸出	70袋用意	袋に書いてあるキーワードをヒ ントに本を借りる（一般書・児 童書）
1月10日	とんがりぼうし おはなし会	4名	定例おはなし会
1月15日	ボールペン画講座	6名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
1月18日	新春シネマin図書館	13名	大人向け映画上映会 『天使のいる図書館』
1月26日	新春シネマin図書館	26名	大人向け映画上映会 『皇帝ペンギン ただいま』
2月5日	ボールペン画講座	13名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
2月14日	とんがりぼうし おはなし会	2名	定例おはなし会
2月15日	とんがりぼうし おはなし会	4名	定例おはなし会
2月19日	ボールペン画講座	12名	ボールペンだけで描く講座 （講師：吉田 栄介 氏）
2月23日	季節を楽しむ俳句短歌教室	13名	初心者向けの俳句短歌教室 （講師：相原 利沙 氏）
3月1日	講談社全国訪問おはなし隊 訪問		臨時休館により中止
3月4日	ボールペン画講座		臨時休館により中止
3月7日～14日	リサイクル本配布会		臨時休館により延期
3月13日	とんがりぼうし おはなし会		臨時休館により中止
3月14日	とんがりぼうし おはなし会		臨時休館により中止
3月18日	ボールペン画講座		臨時休館により中止

参加人数 合計：5,542名

(2)活動記録



春のこども読書週間『図書館 de ビンゴ』
(平成 31 年 4 月 20 日～令和元年 5 月 12 日)



みんなでワイワイ工作会 (6 月 15 日)



たなばた会 (7 月 7 日)



歴史・文化講演会『愛西市の小学校の歴史』
(7 月 13 日)



こんちゅう切り紙教室 (8 月 18 日)



夏休み子ども 1 日図書館員体験 (8 月 20 日～23 日)



秋の読書週間イベント『ハロウィンバスケットを作ろう』(10月26日)



ハスの工作会(愛西市観光協会主催・図書館協力)(10月14日)

図書館まつり(11月2日~3日) 参加者: 4,063名



リサイクル配布(図書・雑誌をどうぞ)



ラミネート体験



ねずみの工作



佐屋高校ライフコーディネートの生徒さんによる読み聞かせ



図書館の活動展示・ボールペン作品展示
俳句教室作品展示

『戦国時代へタイムスリップ！秀吉と家康の講和へと繋げた大野城址を訪ねる』 (歴史文化講座まち歩き)

日時:令和元年5月26日(日) 午前10時～

参加者:57名

場所:愛西市永和地区

内容:5回目となった愛西市内のまち歩き。「令和」という新元号になっての特別記念まち歩きとなった。

愛西市永和地区の名所・旧跡を巡り、愛西市観光協会所属の「あいさいボランティアガイドの会」の方の案内により、参加者と共に歴史の知識を深める事が出来た。

防災コミュニティーセンターをスタートし、いくい島砦跡、大野城址の碑、服部茂左衛門の碑、富士浅間社、善太の這いずり松などを見ながら、約6kmのコースを巡った。家族連れなどの参加・小さな子供さんの参加など、年齢層も幅広く好評であった。

春の大好評 まち歩き企画！！

『戦国時代へタイムスリップ！！
秀吉と家康の講和へと繋げた大野城址を訪ねる』

愛西市中央図書館 歴史・文化講座「市内名所・旧跡巡り」～

初夏が近づいてまいりました。
中央図書館の講座 大好評企画！！ 新元号 特別記念まち歩きです！！

今回は、愛西市永和地区を巡ります。永和地区の名所・旧跡を見ながら「あいさいボランティアガイドの会」の皆様のお話しを聞き、楽しくゆっくり散策してみませんか？

日時 :2019年5月26日(日) 午前10時～
(※雨天決行)

場所 :永和地区防災コミュニティセンター
(愛西市鯉江町郡裏147番地) ※詳しくは、裏面をご覧ください。

持ち物 :筆記用具・飲み物は、各自ご用意ください。

コース :永和地区周辺(約6km)
(防災コミュニティセンター→いくい島砦跡→JR 永和駅→大野城址碑
→服部茂左衛門の碑・富士浅間社→善太這いずり松→善太の森跡
→防災コミュニティセンター)

※参加費無料・事前申し込み不要

大野城址碑(愛西市大野町) 富士浅間社(愛西市善太新田町)

<問い合わせ>
愛西市中央図書館
TEL(0567)28-7760



『伊勢湾台風による学童避難』（あいさい歴史講演会）

日時: 令和元年9月8日(日) 午後2時～

参加者: 55名

場所: 愛西市中央図書館 2階会議室

講師: 久保田 稔 氏 (NPO 法人木曾川文化研究会代表 大同大学 名誉教授 工学博士)

内容: 東海地方に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風から60年。その当時を振り返り、被災した人は、どのように避難をし、日常生活を送っていたのか。学童の避難は、どのように行われていたのかを、講師である久保田先生より聴くことができた。

学童避難においては、PowerPoint で、図式にして分かりやすく説明していただいた。当時の貴重な写真なども紹介し、今後起こりうる防災意識も深められる講演であった。

また、中央図書館所蔵の伊勢湾台風関係の資料や、『歴史写真集 愛西』を発行するにあたり収集した当時の被害風景や、避難生活をする学童の写真等も、パネルにて展示。参加者には、先生が執筆された『伊勢湾台風から60年 木曾三川歴史・文化の調査研究資料』（KISSO 特別号）が、プレゼントされた。

愛西市中央図書館 あいさい歴史講演会

『伊勢湾台風による学童避難』

紀伊半島から東海地方に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風。災害から今年で60年目を迎えます。1959年9月26日、被災された人たちは、どう避難生活を強いられその当時、どんな状況であったのか？当時の自然災害を振り返りながら、今後起こりうる自然災害と向き合う為に、防災意識を高めていきましょう。

日時: 令和元年9月8日(日) 午後2時～3時 (受付:午後1時30分～)

場所: 愛西市中央図書館 2階会議室

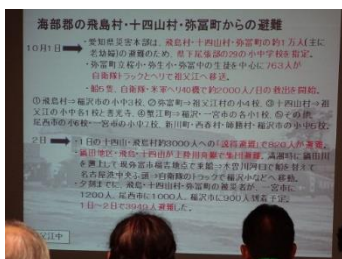
定員: 80名(先着順)

参加費: 無料

講師: 久保田 稔 氏 (NPO 法人 木曾川文化研究会 代表 大同大学 名誉教授 工学博士)

<問い合わせ> 愛西市中央図書館 (0567)28-7760

<愛西市立田地区の避難風景>



『ふれあい音楽会』

日時:令和元年10月5日(土) 午後2時～

参加者:78名

場所:愛西市中央図書館 2階会議室

演奏:音楽グループ「アンダンテ」

内容: 昨年好評の蓄音機コンサートに続く音楽会。フルート・ピアノ・クラリネット・カホンで構成される音楽グループ「アンダンテ」による楽しい演奏会となった。

プログラムは、子どもから高齢の方まで、幅広い年齢層に馴染みのある曲の演奏になった。当日、歌詞カードをお渡しし、演奏と一緒に歌える文字どおりの音楽にふれあえる会になり、参加者たちは、堅苦しくない雰囲気の中で、楽しんでいただけた。

曲の途中では、各楽器の紹介などもあり音楽知識を深めることもできた。



音楽グループ「アンダンテ」による 大人から小さなお子様まで楽しめる楽団の演奏や、楽しい歌の音楽会です。
生演奏ならではの「間近で、楽団の音色を存分に聴く事が出来るいい機会です。
みんなで音楽会を楽しみましょう ♪

日 時: 令和元年 **10/5(土)**
午後2時～ (当日は秋祭りの為、午後3時30分閉場)
場 所: 愛西市中央図書館 2階 会議室
定 員: 70名 **入場無料**
整理券配布: 9月7日(土) 午前9時～
中央図書館1階カウンター (約一人様2枚まで)

【演奏】

フルート	市川 音子 一柳 直美 大次郎 恵子 高瀬 誠 高瀬 祐子
クラリネット	高瀬 祐子
カホン	田之上 優
ピアノ	高瀬 誠 高瀬 祐子 木村 文美

Program

- アイネクライネタムバムンギー(本管四重奏)
- 星のかがやき(フルート二重奏)
- 星のかがやき(フルート二重奏)
- 小さな村
- カールニューワールズ(注)
- とんぼのけいこ(本管四重奏)
- 目黒のせて(本管三重奏)
- パッヘルベルのカノン(フルート二重奏)
- 星のかがやき(フルート二重奏)
- 私の恋に人(本管四重奏)
- もみじ(本管四重奏) 歌(フルート二重奏)
- ハナシでキミ(フルート二重奏)
- 星のかがやき(本管四重奏)
- 結婚(本管三重奏)
- 星のかがやき(フルート二重奏)
- 結婚大団(本管三重奏)
- パッヘルベル(本管四重奏)

<問い合わせ> 愛西市中央図書館 (0567)28-7760



『作って飾ろう！お月見とうろう工作会』

(主催：尾張津島お月見灯路実行委員会 協力：愛西市中央図書館)

日時：令和元年9月14日(土) 午後2時～

参加者：24名

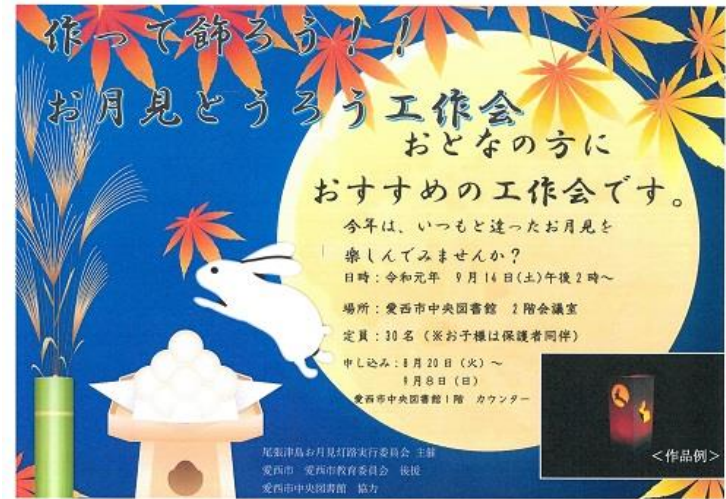
場所：愛西市中央図書館 2階会議室

内容：10月に尾張津島お月見灯路実行委員会主催の『第2回尾張津島お月見灯路』に協力するため、中央図書館で、「とうろう工作会」を実施。

普段の工作会は、子供が中心であるため、大人向けにおすすめの工作会として開催した。

材料等の準備も要らず、とうろう作成が出来、作品も津島神社等で展示してもらえ、人気のある工作会となった。

図書館の入口には、名古屋芸術大学の学生の作品も展示。作成した作品は、本番まで館内展示も行った。作品づくりに熱心な参加者が多く、オリジナル型紙などを持参する方もみえた。



令和元年度まちづくり事業報告

NO	事業項目	期間	事業区分	主担当	NPO支出	備考
1	平成31年信長の台所 津島・まちあそび	4月	(2)	鈴木・石原 黒田	373,686	
	名鉄電車利用者の歴史文化ゾーンへの誘引を図った。 ①津島の歴史文化を掘り起こした催事を期間中に連続して展開した。 ②文化財に焦点をあてた展示会・御開帳等を津島神社・寺院で実施した。					
2	夏 六百年 観る聞く知る天王祭	7月	(3)	石原・田中 鈴木	300,000	実行委員会方式
	目的：尾張津島天王祭観光客へのおもてなしプレイベントの実施 ※ 雨天につき中止					
3	尾張津島お月見灯路	10月	(1)	余郷・青木	300,000	実行委員会方式
	秋の賑わい創出事業として、秋まつりの翌週10月11～14日にお月見灯路を実施した。 ①「お月見灯路」を通行しての「狐の嫁入り道中」を実施した。 ②プロジェクションマッピングなど前年度に比して、より充実させた。					
4	渡邊家住宅の利活用	4・6・ 10月	(1)	黒田・田中 伊藤（哲）	40,616	
	地域資源である本町尾筋の「町家」の保全継承を図った。 ①一般公開と催事を組み合わせて、今年度は音楽会（琵琶・箏・蓄音機）を開催した。					
5	カネ長の利活用 (津島・まちあそび・アート展)	通年	(1)	黒田 伊藤（哲）	121,058	
	令和2年度以降は、カネ長（賃貸人：安立氏）は津島老人クラブが賃借人となる。					
6	図書館を拠点とした 歴史文化事業の展開	通年	(1)	園田・飯谷	-	
	「NPO法人まちづくり津島」の特質を生かした歴史文化事業（古文書・まち歩き・講座等）を図書館催事として展開した。					
7	津島市立図書館・愛西市中央図書館の指定管理者受託	11月	(1)	園田・飯谷 黒田	95,500	提出資料印刷費
	①津島市立図書館は令和2年4月～令和6年3月まで4年間の指定管理者を受託した。 選定理由 ：新たな観点からの取組も計画されており、併せて、図書館同士の連携が図られることにより、よりよいサービス、図書館の質の向上につながることを期待された。 ②愛西市中央図書館令和2年4月～令和7年3月まで5年間の指定管理者を受託した。 選定理由 ：特定非営利活動法人まちづくり津島は施設の設置目的を十分に理解し、施設の管理運営を的確に実施する能力を備えています。指定管理期間の様々な事業の取り組みや、愛西市の特色に考慮したきめ細かなサービスも好評であり、今後の指定期間も様々な提案があり、さらに社会情勢の変化に対応しつつ図書館を運営していくことができると判断された。					
合 計					1,230,860	

※(1)まちづくり調査研究事業 (2)イベント企画・実行請負事業 (3)まちづくり支援事業

令和元年「信長の台所津島・まちあそび」事業報告

(期間：2019年4月20日～5月5日、全39催事)

1、目的 中心市街地の活性化という観点からも、観光客が訪れて楽しめる「まちづく、伝統文化の息づく中心市街地を舞台とした総合催事「信長の台所 津島・まちあそび」は、「観光まちづくり」事業の側面を有している。

今年は昨年と異なり藤の開花時期が遅くなり、4月27日から本格的な開花を迎えた。名鉄電車を利用して訪れた観光客を中心市街地「歴史文化ゾーン」に誘引することを目的として、新たに「津島・まちなかざんまい」事業を展開した。

2、内容 津島の中心市街地は、津島固有の生活文化が今なお色濃く残り、風情ある空間を形成している。住民が気づかない「良さ」「素晴らしさ」「懐かしさ」を感じる観光客が多い。「津島の文化資源(文化財)を再発見してみませんか？」を今年のサブテーマとして「津島・まちなかざんまい」事業を実施した。「信長の台所津島・まちあそび」は、今年で17年目となった。まちあそびの分野としては、基本的に「知る」「造る」「味わう」「聴く」「観る」「買う」「巡る」「笑う」の8分野で、分野ごとに次の要素を催事に組み込むようにした。

3、催事一覧



津島まちなかざんまい
津島神社宝物特別展
愛知の民俗芸能講演会
伊六万才 御殿の舞
木喰「薬師如来」開帳
円空千体仏開帳
牛頭天王像開帳
地藏菩薩像開帳
服部小平太・今川義元法要
加藤清正記念法要
もくもく座「甚目寺説教節」
厄除け護摩焚き
雅楽の調べ
津島霊場巡り・御朱印
ツシマルシェ
地産地消マルシェ
津島でら寺巡り
謎解きゲーム(津島市)
天王祭の風流(津島市)

津島まちあそび
市民歴史講座1日目
市民歴史講座2日目
町家で琵琶を聴く
第11回弦奏会
フレンドシップコンサート
大人の学芸会
ママゴスペルコンサート
ボールペン画作品展
カリグラフィーVOL15
わらもじ作品展
第14回和花まま展
うとうと展 VOL19
和風縁起物展
シーズンカフェ茶の間
煎茶を楽しむ
写仏ぬり絵と薬膳粥
花まつり AMD48
マラソン落語会
津島の山車 魅せます

4、成果

- ① 新しい取組みとして、津島市観光協会が「津島まちなかざんまい」を主催して、津島の文化資源（文化財の仏像・刀剣など）を再発見することを主眼とした事業を展開し、好評であった。

2019年(平成31年)4月27日(土曜日)
尾張版 20

尾張津島藤まつりで津島市を訪れた観光客により楽しんでもらおうと、津島神社(神明町)は28、29日、境内の齋館でいづれも国重要文化財の「太刀 銘真守」と「剣 銘長光」を初めて一般公開する。貴重な茶わんや屏風なども合わせて展示。神社関係者は「津島を盛り上げるのに協力できれば」と意気込んでいる。(清水裕介)

28、29日 津島神社で 藤まつりに合わせ



今回の展示は、天王川公園(宮川町)で五月五日まで開催中の藤まつりを盛り上げる。市観光協会などが周辺イベントを催す「津島まちなかそび」の目玉企画。「神社をより多くの人に知ってほしい」と話す伊藤才斐作の茶わんなど

刀と合わせて展示される伊藤才斐作の茶わんなど

国重文の太刀、剣公開

津島神社境内に築を築いた陶芸家、伊藤才斐(一八八六―一九七七年)作の茶わんや菓子器など九点も展示。大英博物館が所蔵する尾張津島天王祭を描いた屏風の精細なレプリカも披露する。

見学は三十分ごとの入れ替え制で、午前十時から午後二時まで。協力金として一人千円が必要で、集まったお金は神社の修繕などに使われる。津島まちなかそびの企画担当、市観光協会の石原弘乙副会長(まほ)は「津島にはフジ以外にも素晴らしい財産があることを知っていただく機会になれば」と期待している。

●主催「まちなかそび」イベント木曜「築師到来」特別開催(6月1、2日)、成信坊▽内宇体仏特別開催(2日)、地藏堂▽牛頭天王像特別開催(3日)、興禅寺▽地藏菩薩(符さき)特別開催(4、5日)、西光寺▽山車、石探祭車の公開(1、4日、開)。

●主催「まちなかそび」イベント木曜「築師到来」特別開催(6月1、2日)、成信坊▽内宇体仏特別開催(2日)、地藏堂▽牛頭天王像特別開催(3日)、興禅寺▽地藏菩薩(符さき)特別開催(4、5日)、西光寺▽山車、石探祭車の公開(1、4日、開)。

長さ八十二センチの銘真守の作者は、伯耆国(現鳥取県)の真守で、津島神社の神職一族だった堀田弥五郎正泰が愛用したとされる。一方の銘長光は長さ二二・二センチ。神社が入手した経緯は不明だが、備前国(現岡山県)長船派の初代長光の作とされる。いづれも昔から社宝で、現在は神社が保管している。

今回の展示は、天王川公園(宮川町)で五月五日まで開催中の藤まつりを盛り上げる。市観光協会などが周辺イベントを催す「津島まちなかそび」の目玉企画。「神社をより多くの人に知ってほしい」と話す伊藤才斐作の茶わんなど

尾張版



さんかん
井伊小夜子
水彩連盟

ニュース、情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650-5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

一宮 総局 千491-0851
一宮市大江 1-13-13
0586-72-4545 Fax72-5035

津島通信局
0567-28-2157 Fax28-2158

稲沢通信局
0587-32-8800 Fax23-8035

江南通信局
0587-54-4001 Fax54-9622

蟹江通信局
0567-95-3022 Fax95-3000

春日井支局
0568-81-2036 Fax81-2797

犬山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613

小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

- ② 今年も市民歴史講座（6講座）には市内外の人々が多く参加した。天王文化塾が発足したのが2000年であるので、今年で20年目となった。市民講座は発足以来250回を超える。今後も「信長の台所津島・まちあそび」事業の一つの柱として継続していく。
- ③ 津島の祭りでは、山車祭・石探祭をクローズアップすべく、津島山車保存会と協働して「津島の山車 魅せます」催事を積極的に実施した。5月1日には七切山車の池町・高屋敷・米之座山車3輛、5月2日には向島の上之町・中之町・馬場町山車3輛がて「からくり人形」披露、車切を実施した。

5、今後の方針

- ① 「信長の台所津島・まちあそび」の広報活動として、NPO法人まちづくり津島のホームページなどで積極的に情報発信をした。事務局への問合せも多くあった。さらにフェイスブックなど情報発信の媒体を増やしていきたい。
- ② 今年は「津島まちなかざんまい」を津島市観光協会が主催した。今後も継続して協働して、中心市街地の活性化に貢献していきたい。
- ③ 津島秋まつりの山車、石探祭車の巡行は、観光客に人気であり、津島の歴史文化の紹介のうえで効果的である。今後も積極的に取り組んでいく。
- ④ 昨年度、信長の台所 津島・まちあそびは近年、マンネリ化しているという意見があった。それに対応して、今後も事業リーダーの若返り、催事見直し、リーフレット紙面刷新などを観光協会と連携しながら実施していく。

第7回 尾張津島天王祭おもてなしイベント

「夏六百年 観る 聞く 知る 天王祭」

令和元年7月27日(土)
午後5時から午後7時
天王通り2～5丁目

今年のイベントは、台風6号の影響により天候には恵まれず、残念ながら午後5時から午後7時までの縮小開催ということになりました。

尾張津島天王祭の宵祭は開催時間が午後8時以降からであるため、宵祭の夕方に前座的イベントとして、昨年中止となったイベントを本年再び企画開催した。

この企画のねらいは、尾張津島天王祭を訪れるの観光客に対し、地域資源としての伝統文化芸能などがあるが、津島を良くしたいという思いで企画したボランティア市民・団体と地域の店舗などが協力し、町の賑わいと活性化に繋げていくことです。

そこで地域資源として天王通りの商店街を取り上げ、ユネスコ無形文化遺産をPRする提灯によるライトアップし、祭りに訪れた観光客に滞在時間を延長できる要素を持たせた「夏六百年 観る 聞く 知る 天王祭」津島のおもてなしを企画した。

協力団体や参加団体との数回の全体打ち合わせの過程において、新たな地域交流、まちづくり交流を図り、多くの市民が企画し、能動的な協力を得られるようになり、市民のまちづくり意識向上に繋がる一助になりました。

開催企画内容

- ・クローバーTVとエフエムななみによるLIVE放送
- ・会場にてパブリックビューイングにて祭り等LIVE放映
- ・案内所の設置 2箇所 津島駅にて開催案内



●告知チラシ 市内全戸配付



●ヨシヅヤ駐車場にて設置

企画1 路上パフォーマンス (天王通りにて3会場同時開催)

出演団体 7 団体 出演者 150 名程
御田咲楽/SPICE/侍 前田利家ONDO・舞人/神〜JiN〜
灯守(中電)/歓・感G.A.S(東邦ガス)/朱破離

結果:1チーム(40名)のみの参加
午後5時より観光交流センターにて演舞



- オープニング
- 侍 前田利家ONDO・舞人の演舞 (観光交流センター)

企画2 町並み散策(天王祭の裏舞台)

ヨシヅヤ会場より天王祭のみどころと町並を案内

結果:中止



企画3 献灯提灯の点灯

7月13日(日)～27日(土) 18時～23時
180個点灯(商店街街路灯 6箇所 イベント会場)



企画4 おもてなし市場

既存商店 40店舗・フリーマーケット(60ブース)
商品券(マッキー券)の販売

結果:フリーマーケット中止 商工会議所女性会観光交流センターにて



当日イベント案内 7,000部作成

企画5 参画企画

津島市立暁中学校
エコキャップアート展示
7月13日(土)～28日(日)
旧名相銀(天王通5)



ボランティア参加:津島市立暁中学校・至学館大学 雨のため中止

尾張津島天王祭おもてなし実行委員会

- 共催 津島市・(一社)津島市観光協会・NPO法人まちづくり津島・津島商工会議所・津島神社・クローバーTV
協力団体 津島神社崇敬会、尾張津島天王祭協賛会、津島商工会議所青年部、津島商工会議所女性会、津島ガイドボランティア、津島おもてなしコンシェルジュ、ツシマルシェ、空き屋まるごとプロジェクト、津島市商店街連合会、暁中学校、至学館大学
協賛 ヨシヅヤ 後援 津島市教育委員会

第2回尾張津島お月見灯路 実施報告書

開催期間：令和元年10月11日(金)～10月14日(祝) (4日間)

開催時間：17時30分～20時30分

第2回尾張津島お月見灯路は、台風19号の接近により残念ながら10月11日(金)・12日(土)は、11日の一部のイベントを除き開催を中止し、当初予定の4日間の開催期間を2日に短縮しての縮小開催となりました。



尾張津島お月見灯路は、昨年(令和元年)の第1回の開催に引続き、会期を昨年の3日間から1日長い4日間の会期で再び津島の夜の街並みにあかりを灯すイベントを企画開催致しました。

この企画の狙いは、3年目を迎えた津島霊場会による津島霊場巡りを更に盛りあげることで、津島の魅力を市内外の多くの人達に知って頂き、一人でも多くの方が霊場巡りをはじめ、市内の歴史的文化遺産や街並みなどを、情緒あふれる行燈の灯りのもと楽しんで散策していただき、まちの賑わいと活性化に繋げていくことにあります。

第2回の開催となった今年のお月見灯路では、昨年の360基の行燈設置による灯りの演出を、津島オリジナルで制作した尾張津島お月見灯路行燈300基を含め460基のあかりを灯し、皆さまをお迎えすることができました。

ご参加頂いた団体の皆さまも、昨年に引き続き清林館高校の生徒さんをはじめ津島市役所、津島商工会議所、(一社)津島市観光協会、(一社)津島法人会津島支部、津島市ガイドボランティア、津島つしまおもてなしコンシェルジュ、津島市西小学校区地域コミュニティからも多くのボランティアスタッフとしてご協力を賜り、短縮開催となった2日間で、当初予定をしておりましたイベントを何とか開催する事が出来ました。

【開催企画内容】

- 企画1 津島霊場会 夜の御朱印巡り及び行燈展示、ウサギを探せ・ウサギのコスプレコンテスト
10月11日(金)～14日(月) 17:30～20:30 津島霊場会17ヶ寺
結果：10月13・14日 17:30～20:30 津島霊場会18ヶ寺にて実施 行燈200基境内に点灯
2日間でのご朱印授与445人 (+各寺院の限定特別ご朱印190枚を授与)
ウサギを探せSNS投稿 120件、コスプレ投稿 2件
「ウサギを探せ」では、18ヶ寺全て撮影投稿された方1名、17ヶ寺2名、10ヶ寺以上投稿された方7名へ、それぞれ記念品の霊場会オリジナル色紙を商品として進呈
「ウサギコスプレコンテスト」の投稿者2名には霊場会オリジナル巾着を商品として進呈
- 企画2 津島霊場会 独自イベント(各寺院)
10月11日(金)～14日(月) 17:30～20:30 津島霊場会8ヶ寺
結果：10月13日・14日 お月見灯路限定御朱印授与(宝泉寺・龍淵寺) 190枚授与
10月13日・14日 絵画展示(*) (観音寺・宝泉寺・常楽寺)
10月13日・14日 会式花作り(妙延寺) 参加者3名(当初不参加予定を日程変更で急遽参加)
10月13日・14日 飴のプレゼント(吉祥寺)
10月13日 散華配布(観音寺)
10月13日 チベット体操教室(勝林寺) 参加者30名
10月13日 蓮の灯りワークショップ(*) (常楽寺) 参加者6名
※12日弘盛寺にて予定の同イベントは開催中止
※(*)印イベントは外部参加者からの持込み企画イベントとして実施
- 企画3 尾張津島 狐の嫁入り道中行列、津島おもてなしコンシェルジュによる提灯灯りによるお出迎え
10月12日(土) 17:00～19:00 渡邊家住宅～橋詰町～祢宜町～津島神社
結果：10月13日(日) 17:00～19:00 500名超の参列者と共に道中行列、津島神社での神前奉式を実施
行列出発地点の渡邊家住宅、津島神社東門ほかにて嫁入り菓子撒きとして神饌菓(あかだくつわ)400袋の菓子撒き(手渡し)を実施。また50名の提灯灯りでのお出迎え(津島おもてなしコンシェルジュ企画)
- 企画4 清林館高校生制作のプロジェクトマッピング Road to 2020 in Tsushima～僕らの創造する近未来～
10月12日(土) 19:00～20:00(予定)デモ投影、10月13日(日)第1回 18:00～、第2回 19:00～
結果 10月13日(日) 19:00～20:00 デモ投影、10月14日(月)第1回 18:00～、第2回 19:00～
13日のデモ投影時は300名超の観客の皆さんの中、津島神社楼門をキャンバスに本番仕様のデモ実施
14日は開催時残念ながら小雨の降る悪天候の影響もあり若干人出は減少し、18時19時の2回投影実施
今年の映像には津島4大祭りの映像をはじめ、津島市立図書館より提供いただいた大正時代の津島の映像等も取り入れ制作、プロジェクター2台を使用し楼門全体(屋根含む)へ映像投影を実施

- ・企画5 渡邊家住宅 夜の呈茶会、イサムノグチのAKARI展示、渡邊家に伝わる歴史ある嫁入り道具の特別展示
 10月11日(金) 17・18・19時 10月12日(土)18・19時 (夜の呈茶会)
 結果 10月11日(金) 17・18・19時に呈茶会開催 参加者20名
 10月13日(日) 18・19時に呈茶会開催 参加者28名(12日の催事中止により日程をスライド開催)
 同日17時から狐の嫁入り道中行列の「嫁出で」を実施
- ・企画6 津島山車保存会 AKARI池之堂車特別展示
 10月12日(土) 18時～21時 池麩町 宝泉寺山門前での特別展示を開催
 結果 10月13日(日) 18時～21時 池麩町 宝泉寺山門前での特別展示を開催
 12日の催事中止により渡邊毛住宅の催事に合わせ日程をスライド開催
- ・企画7 奉獻行燈・露地行灯・手作り灯籠・津島神社南門参道石灯籠点灯
 10月11日(金)～14日(月) 17:30～20:30 展示・点灯
 結果 10月13日(土)・14日(日) 17:30～20:30 奉獻行燈44基、露地行灯216基、霊場会寺院境内200基
 設営、手作り灯籠70灯展示(津島市立図書館での手作り灯籠教室にて制作の32灯、愛西市中央図書館
 手作り灯籠教室にて制作の24灯、彩雲館での手作り灯籠教室で制作の14灯)
 名古屋芸術大学学生制作の「津島をテーマとした手作り灯籠」32灯展示、
 津島神社南門参道石灯籠20基でLEDライト点灯
- ・企画8 事前告知イベント
 津島市立図書館・愛西市中央図書館「作って飾ろう!!お月見灯籠」・手作り灯籠図書館展
 結果 手作り灯籠教室開催 8月24日(土)14時～ 津島市立図書館 開催 29名参加
 9月14日(土)14時～ 愛西市中央図書館 開催 24名参加
 手作り灯籠図書館展示 津島市立図書館 8月25日～9月13日
 愛西市中央図書館 9月15日～9月30日

図書館(津島・愛西)手作り灯籠展



渡邊家住宅夜の呈茶会



狐の嫁入り道中行列



池之堂山車特別



霊場会寺院行燈



狐の嫁入り提灯



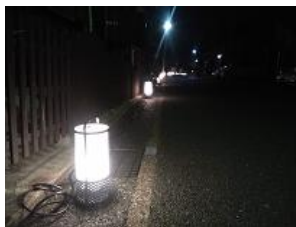
津島神社手作り灯籠展



津島神社手作り灯籠展



清林館高校プロジャクシヨンマツ



露地行燈・奉獻行燈展



【広報活動】

- ・中日新聞社、在名テレビ局 天王祭キャラバンへの同行、10月4日お月見灯路単独キャラバン訪問
- ・新聞掲載 中日新聞(10/8 尾張版・市民版)、朝日新聞(10/11 地域総合 情報クリップ掲載)
- ・秋ぴあ東海版 あかりイベント特集掲載 ・名鉄お出掛け情報(FB頁) 10/7 掲載
- ・ポスター掲出 名鉄全線主要駅 9/15～10/14、津島市広報板 8/1～9月中旬
- ・クローバーTVテレビ掲示板 9/30～10/9 エフエムななみ アフタヌーンバラエティ告知 10/9 他

共 催：津島霊場会 NPO法人まちづくり津島

主 管：尾張津島お月見灯路実行委員会

協力団体：一般社団法人津島市観光協会 津島神社 津島市西小学校区コミュニティ 津島ガイドボランティア
津島おもてなしコンシェルジュ 津島市立図書館 愛西市中央図書館

協 賛：津島商工会議所 一般社団法人津島法人会津島支部 株式会社 義津屋 西尾張ソ-イーティ-ガイ 株式会社
三和テクノ 株式会社 他48社

後 援：津島市 津島市教育委員会 愛西市 愛西市教育委員会

第二回尾張津島お月見灯路 協賛事業

報告書「夜の呈茶会 - イサム・ノグチのAKARI & 嫁入り道具の特別展示 - 」

1、催事概要

日 時：令和元年10月11日（金）・13日（日）（※12日雨天順延）

11日：4回 午後5時・6時・7時・8時，12日：2回 午後6時・7時

会 場：渡邊家住宅（本町3丁目）

定 員：各回10名、要予約

申込先：☎ 090-1620-7655

入場料：1000円（維持管理料+呈茶代）

2、展示内容

- ① 明治時代の嫁入り道具（婚礼調度品）：打ち掛け、筥迫（はこせこ）、簪（かんざし）・笄（こうがい）・櫛（くし）、重掛け（じゅうかけ）・五段重・重台、蝶脚膳などを展示



- ② 津島出身の英詩人野口米次郎（ヨネ・ノグチ）の子 イサム・ノグチが岐阜提灯との出会いの中から1952年に創り出された“AKARI”（照明の彫刻品）5点を展示



- ③ 1809（文化6）年10月25日に、当時の当主 渡邊新兵衛源義陳が上棟した「数寄屋造り」の渡邊家住宅。母屋の屋根は、瓦葺で「むくり」屋根。その一階書院、次の間の茶室「扇面の間」、二階「桜の間」、「涵月楼（かんげつろう）」などをガイド付きで室内見学

3、結果

- ① 入場者数：11日（4回）30名、13日（2回）28名
雨天順延でキャンセルが出たにもかかわらず、狐の嫁入り効果で入場者が増えた。
- ② 嫁入り道具の蔵出し、展示、後片付けなどに、かなりの時間を費やした。
- ③ 嫁入り道具の展示であったので、女性客が多かった。
- ④ 抹茶とお菓子（花乃舎）はいつも通り好評であった。

報告書 「 AKARI 池町山車 」

1、催事概要

日 時：令和元年10月13日（日）午後6時～9時 （※12日雨天順延）

会 場：池町山車蔵前（池麩町 宝泉寺山門前）

出展山車：池町山車（津島市指定無形民俗文化財）

協 力：津島山車保存会・池町山車町内

2、展示内容



津島秋まつりの「七切」の一つ 池町山車町内の協力をえて、10月5日・6日に行われた「津島秋まつり」の一週間後の13日（12日雨天順延）に池町山車蔵前の小路（通称 蔵の通）で60個ほどの提灯を灯した池町山車一輛を特別に展示した。池町山車町内は山車の「山おろし」（からくり人形・懸装品などの片づけ）をしないで、この日に備えてくれた。

提灯を灯した山車は、美しく幻想的であった。さらに、小路には「お月見灯路」の行灯が並べられていたので、一層情緒的であった。

お囃子を演奏すると、その音を聴いた多くの人々が天王通りから池町山車蔵を訪れた。また、山車を小路で曳き廻して、見物客を楽しませた。

3、結果

- ① 夜の町にお囃子は響き渡るので、その音色を聴きつけて見物客が訪れるとともに渡邊家催事（夜の呈茶会）での案内もあり、昨年比して、見物客は大幅に増加し延べ300人ほど。
- ② からくり人形の妙技が見えるような工夫（スポットライト）をしたい。

令和元年度渡邊家住宅利活用事業 Part2

『町家で箏を聴く ―古典・近代から現代箏曲―』

1、事業目的

- ① 津島を代表する数寄屋建築の町家である渡邊家住宅の魅力伝える催事を実施し、津島の歴史文化を紹介する。
- ② 町家を活用したまちの活性化を図るため、渡邊家住宅を津島の歴史文化に触れられる拠点として、学び講座、楽しむ催事を実施する。地域の歴史文化に対する市民の関心を深め、地域に根ざした文化資源の保全と継承を図るとともに、文化交流を促進する。
- ③ 初公開以来、町家公開のみでは入館者が減少傾向にあり、町家公開と文化催事を組み合わせることのニーズが高まっていた。昨年度に、音楽催事『市指定文化財 町家で楽しむ ♪ 蓄音機コンサート ♪』を開催したところ、好評であった。本年度も津島まちあそび事業で4月27・28日に『町家で琵琶を聴く―平家物語の世界―』を開催し、これも好評であったので、音楽催事の第3弾として、箏の演奏会を開催した。



2、実施要領

- ① 事業名：『町家で箏を聴く ―古典・近代から現代箏曲―』
- ② 主催：特定非営利活動法人まちづくり津島
- ③ 日時：令和元年6月15日(土)・16日(日)10時・14時
- ④ 会場：渡邊家住宅 津島市本町3-13
- ⑤ 入場料：1000円

(維持管理協力金300円、パンフ・室内見学、お抹茶・菓子)

- ⑥ 定員：各回15名(予約制)

3、事業内容

- ① 箏奏者：鶴見真弓、則竹小百合
- ② 曲目：プライムナンバー、六段の調、深山木、春の海、星空への想い

※『深山木みやまぎ』 作曲：吉澤検校、作歌：氷室長翁

吉澤検校(1808-1872)、氷室長翁(1784-1863)ともに海部津島ゆかりの人物。吉澤は、国学と和歌を氷室(津島天王社神主)に学んだ。

- ③ スタッフ：ガイドボランティア(3名)、コンシェルジュ(2名)

4、事業結果

有料参加者は定員超の75名で、盛況であった。懐かしい「六段」「春の海」を熟達の演奏と町家独特の音響効果で、素晴らしい演奏会になった。曲目で海部津島ゆかりの「深山木」を箏と謡いで聴くことができた。

今年度3回目の渡邊家住宅利活用事業は秋の催事「夜の呈茶会 ―AKARI―」(尾張津島お月見灯路)を10月11日・12日に開催する計画である。

渡邊家 音楽催事 part 3

町家で箏を聴く

―古典・近代から現代箏曲―

6月15日(土)・16日(日)10時・14時
定員各15名 要予約 ☎ 090-1620-7655
入場料 1000円 (維持管理協力金+呈茶代)

会場 渡邊家住宅 (津島市本町3丁目)



箏奏者
鶴見真弓
則竹小百合
曲目
六段
春の海
星空への想い
他

☆特別演奏『深山木みやまぎ』作曲：吉澤検校、作歌：氷室長翁
吉澤検校(1808-1872)、氷室長翁(1784-1863)ともに海部津島ゆかりの人物。吉澤は、国学と和歌を氷室(津島天王社神主)に学んだ。



津島市立図書館 指定管理運営について

指定管理選定

- ・令和元年（2019）10月29日、津島市立図書館の指定管理者に選定。
- ・指定期間4年間：令和2年（2020）4月1日～令和6年（2024）3月31日

令和2年度の新規予定

- ・調べものの便宜を図るため、館内にWi-Fiを2ヶ所設置
- ・利用者用端末に「朝日新聞データベース」を導入
- ・令和3年（2021）11月予定のシステム更新準備
- ・地域資料として、『歴史写真集 津島』第4輯を刊行予定

新型コロナウイルスへの感染対策

- ・飛沫防止シートの設置、消毒液の設置、職員のマスク着用、長時間滞在の制限
- ・おはなし会・文化講座など3密を伴うサービスの制限に代わる、新たなサービスを検討

【津島市立図書館の基本方針】

- ①「いつでも、どこでも、誰でも」をキーワードとした利用しやすい図書館への取り組み
- ②「本との出会いと発見をサポート」をキーワードとした楽しい図書館への取り組み
- ③「調べもの、生涯学習の積極支援」をキーワードとした学べる図書館への取り組み
- ④「津島地域の歴史文化収集と情報発信」をキーワードとした地域情報図書館への取り組み

①は居住場所・生活環境・日常生活行動（障がい）によって情報提供サービスの格差が生じないよう、利用しやすさに取り組むこと

- ・平成20年（2008）8月1日、月曜の定期休館日を廃止し、開館日数を大幅拡大
- ・平成21年（2009）3月24日、館内利用者用にカラーコピー機を設置
- ・平成21年（2009）4月1日、館外貸し出し冊数の上限を5冊から10冊へ引き上げ
- ・平成22年（2010）4月2日、神守分室（現在は生涯学習センター分室）へ司書の派遣を開始
- ・平成23年（2011）8月1日、津島駅に図書返却ポストを設置
- ・平成24年（2012）2月1日、インターネット予約システム導入
- ・平成28年（2016）11月18日、館内利用者用にインターネット閲覧用パソコンを設置

②は本の紹介（情報発信）や配架の工夫のほか、市民参加型を基軸としながら読書活動に取り組むこと

- ・各種特集コーナーの設置（パソコン・子育て・医療など）
- ・学年別おすすめ本の紹介（毎年小学校1年～中学3年までのおすすめ本を選定、紹介）
- ・定期特設コーナーの設置（季節・時宜に応じたテーマで特集した図書コーナー）
- ・各種おはなし会・古典文学読書会（おはなしや読書会を通じて絵本や古典本に親しむ）
- ・図書館コンサート（音楽会の開催を通じて、楽器や音楽のCD・図書を紹介）
- ・ボランティアの養成・サミット（ボランティアの養成や交流を通じて絵本の魅力を広める）
- ・話題の作家の講演会、作品紹介の展示会（作家の作品を紹介）

- ・折り紙・切り紙・各種工作会（折り紙や工作に関する本を紹介）

③は各種ネットワークを構築しながら課題解決（レファレンス）や生涯学習に取り組むこと

- ・愛知県内の公共・大学図書館と相互貸借システムによる広域連携
- ・市内小中学校との見学・実習・団体貸出等による各種連携
- ・市内各団体（学童保育・児童養護・老人福祉施設など）への団体貸出による連携
- ・図書館職員の専門性および能力向上のため各種研修会の積極参加
- ・生涯学習（読書会・絵画・古文書など）に関連する各種文化講座、文化教室の積極催行
- ・各種調べもの図書コーナー（調べ学習・子育て・パソコン関連など）の設置
- ・新聞記事データベースの導入（25年度より）
- ・国会図書館公共図書館向けデータベースの導入（30年度より）
- ・団体貸出の拡大（読書や調べもの支援における重要なサービスと位置づける）
- ・学校・団体への絵本譲渡（不要になった本を、子どもの読書活動への環境整備として譲渡）
- ・図書館ホームページの充実（効果的な情報発信手段として活用：図書館だより・新聞・地域資料）
- ・パスファインダー、文献リストの作成などレファレンスツールの充実（想定される質問への準備）

④は歴史文化などの情報センターを目指すため地域資料の収集と整理及び発信事業に取り組むこと

- ・各種郷土資料の収集および整理作業
- ・郷土資料集の編集発行业
- ・図書館所蔵近代資料の整理登録作業
- ・郷土に関する歴史文化講座および展示の積極実施
- ・図書館職員による各方面への出張講座の実施
- ・記念誌など、図書館関係資料の収集および発行业

【目指す図書館像】

地域住民や団体、行政から必要とされる図書館として、図書館員自身が利用者や地域住民へさまざまな情報発信・情報提供することが必要。①は情報提供の環境整備、②は図書紹介（情報発信）、③の課題解決（情報発信・情報提供）、④の地域事業は地域資料を基軸とした情報発信事業。

図書館員は②, ③, ④を積極的に取り組み、かつ利用者に対して丁寧に対応しなければならない。こうした事業を積み重ねることにより、図書館・図書館職員は地域からの学術的信頼を得ることとなる。学術的信頼を構築することができれば、地域との各種連携が生まれ、重要な社会教育施設として地域からより必要とされるようになる。

愛西市中央図書館 指定管理運営について

指定管理選定

- ・令和元年12月の愛西市議会での議決により、愛西市中央図書館の指定管理に選定。
- ・指定管理期間：令和2年(2020)4月1日～令和7年(2025)3月31日

次の任期の5年間には、業務仕様書にて、市からお願いされている点が2点あります。

- 6月～9月の4か月間は、開館時間が延長。(9時～19時開館)
- 資料等の搬送(日常配送)

資料等の搬送は、市職員で行っていた業務全般(図書館3館の資料巡回配送・役所等の文書配送・「はすみん」の納品)を行います。車は、私用車ではなく、新しく指定管理側で用意した車を使用します。(リース契約)

事業計画

事業計画については、第1期の事業計画のように、図書館の入館者数だけで達成度を見るのではなく、来館が少なくても、図書館で行うすべての催事などでの参加数等でも達成度を見るような計画に変更しました。

新規の事業計画は、中央図書館からは、館長・副館長・主事からの個々5点ずつの案を出し合い、それぞれの案を議論し5点に絞り込みました。図書館案の中から、最終的に、理事長を含め、話し合いをした結果、提案した4点を、図書館の申請案として事業計画に盛り込みました。

●図書館遠隔地へのサービス

愛西市は、「佐屋・立田・八開・佐織」の4つの地区が、南北広範囲に位置するため、特に、小さな子供や、車などの交通手段の無い高齢者などは、図書館に直接来館することが、困難な地域もあります。

4地区のうち、八開地区・福原地区には、近隣に読書施設が無いことから、この2地区を定期的に巡回する『移動図書館サービス』を展開する計画です。

巡回拠点は、八開地区は、「八開庁舎」・福原地区は、「旧福原分校」を考えています。

巡回に関しては、巡回する事前準備(データ変更作業等)が必要になりますし、巡回の回数など、試行錯誤しながらになると思われれます。

愛西市教育委員会とも連携し、緊密に打ち合わせをしながら、計画を実行にしていけることとなります。

「移動図書館サービス」「資料の搬送(日常配送)」「団体貸出配送」については、配送・巡回担当者が、専任で行う予定です。

●館内のWi-Fi環境の整備

スマートフォン、タブレットの普及に対応するため、環境の整備を行い、現代のネット環境に対応。OPACなどに縛られることなく、館内どこでも情報検索できるようにします。

現代の情報化社会に対応し、よりよい学習環境を保つため、利用者からの要望の多い、持ち込みPCの使用を便利にする電源コンセントの増設を、市と協議しながら充実させます。

●夏休み特別企画「子ども朝活図書館」の開催

夏休み第1週の1週間、「午前7時～午前9時」までの開館前2時間を、小学生以上の子ども限定で、静かで集中できる環境の会議室を特別に開放し、宿題などの学習が出来る場として提供します。子供たちに『学びのサポートをするための図書館サービス』を企画していきます。この間は、カウンターでの図書貸出・返却業務は行いません。又、ラジオ体操なども取り入れることも検討していきます。通常勤務時間帯ではない朝早くからの開放になります。一部職員は、サービス対応するための出勤体制を考えます。

●中学・高校との連携・子ども読書活動

令和元年度、「図書館まつり」に、県立佐屋高校のライフコーディネーター科の生徒さんに協力いただきました。これは、令和2年度以降、この活動を円滑に行っていくために、企画をしました。市内の中高生と連携しての活動は、策定されている「愛西市第二次子ども読書推進計画」を実行していかななくてはならないことから「図書館まつり」だけでなく、定期的に学校に協力をいただき、「おはなし会」の活動を行っていく計画です。（偶数月開催）計画については、すでに高校側からも、積極的に協力したいとの意見をいただいております。

また、小学校の英語教育の必修化に伴い、英語教師（外国人講師）などと連携し、「英語のおはなし会」（奇数月開催）を計画しています。

5年間の管理期間には、令和3年度に図書館システムの更新もあります。

特定非営利活動法人まちづくり津島

令和 2 年度事業方針

1 NPO法人まちづくり津島の目的

- (1) NPO法人まちづくり津島は、まちづくりに関する調査研究、政策提言、相談や助言、研修、知識の普及や情報発信、人材交流及びネットワーク促進事業及び指定管理者事業を市民、行政、企業の協働のもとに行う。
- (2) 市民主体のまちづくりの推進役となる。
- (3) 海部地域の豊かな暮らしの実現と中心市街地の活力の再生に寄与する。

2 指定管理業務「図書館」事業計画

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、様々な催事が中止となり、その収束が見通せない状況下であるが、収束次第、事業を積極的に開催したい。

2-1 津島市立図書館 指定管理業務の充実

(1) 図書館イベントの実施

図書館未利用者へのPRや図書・地域資料などの紹介を目的とした、コンサート、子育て支援、文化講演会など各種イベントを実施した。関係機関や住民と連携し、地域の魅力を掘り起こすことも目的とする。

(2) 子どもの読書・文化振興

児童イベントの質的向上、「学年別おすすめ本」発行

(3) 地域文化コレクションの整備・充実

(4) 読書奨励事業

2-2 愛西市中央図書館 指定管理業務の充実

市民の学びや知識交流の場としての図書館機能を充実させ、市民の文化発信・文化創造を支援する図書館をめざす。

(1) 利用しやすい いつでも、誰でも、気軽に訪れ利用しやすい図書館

(2) 楽しい 新たな知と文化に出会うことの楽しさを提供する図書館

(3) 学べる 調べものや生涯学習を支援し、市民が交流できる図書館

(4) 地域情報の拠点 地域の歴史文化を学べる講座や展示が充実した図書館

3 まちづくり基本方針

4月予定の「まちあそび」事業は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となった。感染症が収束次第、まちづくり事業を積極的に開催したい。

(1) NPO法人まちづくり津島の特質である歴史文化を活かした「まちづくり」事業等を行うとともに、「信長の台所津島・まちあそび」等の事業リーダーの若返りを図る。

(2) 指定管理者「図書館」を拠点とした「まちづくり」事業を積極的に展開する。

(3) 津島の「まつり」の集客力を高める事業を行う。

(4) まちづくり事業を津島商工会議所、観光協会などの組織・団体と協働して実行する。

令和2年度 津島市立図書館 文化情報・読書奨励事業計画

	行事名	開催回数(日程)	備考
1	図書館おはなし会	毎月第2・第4土曜日	図書館職員
2	※ 神守のおはなし会	毎週日曜日	〃
3	※ 神守のおりがみ教室	毎週日曜日	〃
4	たなばた会	7月	図書館職員・まるんmamaその他
5	真夏の夜のこわ〜いおはなし会	7月	おはなしざっくざく
6	ストーリーテリングのおはなし会	4月・10月・12月・2月	おはなしざっくざく
7	一日図書館員体験(小学生)	8月1日〜7日	図書館職員
8	映画会	8月・3月	〃
9	おはなしくるりん(サミット)	10月	図書館職員・市内外読書グループ
10	本のリサイクル(無料配布)	6月・11月	図書館職員
11	クリスマス会	12月	図書館職員・まるんmamaその他
12	おはなしにこにこ (赤ちゃんのためのおはなし会)	毎月第1・第3木曜日	じゃあびり(読書グループ)
13	※ 神守おはなしにこにこ (赤ちゃんのためのおはなし会)	毎月第2金曜日	〃
14	ワクワク楽しいおはなし会	毎月第1土曜日	まるんmama
15	郷土史講座(津島講座)	6月〜3月第3日曜日 計4回	図書館職員・ガイドボランティア
16	古文書講座	毎月第4日曜日	図書館、天王文化塾
17	古典文学講座 (平家物語)	毎月第2金曜日(4月・8月除く)	金城学院大学 名誉教授
18	法律情報講座	12月	第一法規・五条川弁護士事務所
19	朗読会	8月(1回)	読書グループ・空缶
20	神守小学校図書ボランティアの おはなし会	4月	神守小学校図書ボランティア
21	おはなしBOOONのおはなし会	4月	おはなしBOOON
22	子どもの読書週間 おたのしみイベント	4月〜5月	図書館職員
23	館内特設展示	2ヶ月毎	〃
24	館内特集コーナー(1階ホール)	2ヶ月毎	〃
25	テーマごとの図書特集 (カウンター横)	毎月	〃
26	図書館演奏会	11月	図書館主催
27	職場体験、研修生、図書館見学受入れ	随時	図書館職員
28	文化講演会	12月	図書館主催
29	地域の歴史に親しむ講座	4月〜3月まで7回	図書館、天王文化塾
30	『歴史写真集 津島』第4輯発行	12月	図書館
31	ボタニカルアート教室	5月〜3月第1月曜日	伊藤みゆき氏
32	工作教室	5月〜3月第2土曜日	小川栄一氏
33	ボールペン画教室	4月〜3月まで 第2・4の木曜日	吉田栄介氏
34	英語のおはなし会	毎月第3土曜日	英語のおはなし会

ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業予定の変更、または縮小する可能性があります

※ は、生涯学習センター図書室で開催

令和2年度 愛西市中央図書館 読書活動奨励事業（行事等）

事業名	実施内容等	期日・場所・対象等	備考
交流の場の提供	・図書館ボランティアによる読み聞かせお話し会(絵本等) ＜読み聞かせグループ、図書館職員＞	月2回 図書館1階おはなし室 幼児・小学生低学年	
	・佐屋高校生によるおはなし会	偶数月1回	新規
	・English おはなし会	奇数月1回	新規
	・工作会の実施(折り紙・切り紙講座)	6月～8月頃 2階会議室	
	・夏休み「朝活」(開館前図書館開放)	7月	新規
	・夏休み子ども映画会	7月～8月頃 2階会議室	
	・たなばた会	7月上旬	
	・愛西市歴史・文化講座		
	1. 講演会	6月～7月頃, 11月 2階会議室 対象:成人・社会人	
	2. 市内名所旧跡まち歩き	5月, 10月 対象:老若男女問わず	
	・図書館まつり(古雑誌リサイクル)	10月31日 11月1日	
	・本のリサイクル	3月 2階会議室	
	・クリスマス会	12月	
	・新春シネマ in 図書館(大人の映画上映会)	1月	
	・オリジナルしおりづくり、福袋の貸出	10月、1月頃 2階会議室 対象:親子等	
・ボールペン講座	毎月第1・3水曜		
・季節を楽しむ俳句・短歌教室	偶数月1回		
団体貸出	・希望する読書施設への貸出	年間	
	・企業、学校、児童館、福祉施設等への貸出		
	・学校等への特定主題図書の貸出		
図書館資料等の展示	・読書週間等に併せた展示	年間・随時	
	・自主企画による展示		
	・展示資料の市町村貸出・借受		
	・地域資料を紹介する展示		
読書普及事業	・読書会や本に親しむ講座の開催	随時	
	・図書館まつりの開催		
	・絵本展、絵本の選び方教室の開催		
	・乳児向けのおはなし会		
	・愛西市子ども読書活動推進計画(第二次)の実施		
	・移動図書館車の巡回(八開・福原地区)	(時期未定)	新規

令和2年度まちづくり事業計画（案）

NO	事業項目	期間	事業区分	主担当	NPO支出	備考
1	令和2年信長の台所 津島・まちあそび	4月	(3)			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	目的：藤まつり観光客の歴史文化ゾーンへの誘引を図る					
2	夏 六百年 観る聞く知る天王祭	7月	(3)	石原・田中 鈴木	300	尾張津島天王祭 おもてなし実行委員会
	目的：尾張津島天王祭観光客へのおもてなしイベントの実施 ①地域物産販売・フリーマーケット・地元商店街の参画 ②「路上パフォーマンス」の規模拡張					
3	尾張津島お月見灯路	10月	(1)	余郷・青木	400	尾張津島お月見灯路 実行委員会
	目的：10月の賑わい創出 「秋まつり」10月3・4日 & 「お月見灯路」10月23日～25日 ①「お月見灯路」を通行しての「狐の嫁入り道中」の実施 ②プロジェクションマッピングの充実					
4	「秋の津島・まちあそび」 尾張津島お月見灯路協賛事業	10月	(1)	黒田・田中	150	
	目的：10月23日～25日お月見灯路会場周辺での「秋のまちあそび」催事の市民協働					
5	『歴史写真集 津島第4輯』発刊	9月	(1)	園田	400	津島市立図書館
	目的：明治から現代にいたる津島の変遷を知る写真集の刊行 ①津島の近代史をヴィジュアルに物語る内容構成					
6	津島・愛西 図書館を拠点とした 歴史文化事業の展開	通年	(1)	園田・飯谷	350	
	指定管理者「まちづくり津島」の特質を生かした事業を展開する。 ①海部津島の歴史文化への住民理解を深める講座の実施					
	①海部津島の魅力再発見の「まち歩き」の実施					
7	町家「渡邊家住宅」の利活用	4・6・ 10月	(3)	黒田・田中 伊藤（哲）	150	
	目的：地域資源「町家」の保全と継承のモデル化 ①一般公開と催事展開 今年度は音楽会（和楽器・祭囃子等）					
8	町家「カネ長」の利活用	通年	(3)	黒田	50	賃借者：津島老人クラブ
	目的：令和2年度より「カネ長」の賃借者が「まちづくり津島」から「津島老人クラブ」に移行した。春と秋のまちあそび催事を実施し、町家を利活用する。					
	合 計				1,800	

※(1)まちづくり調査研究事業 (2)イベント企画・実行請負事業 (3)まちづくり支援事業

特定非営利活動法人まちづくり津島 役員 (案)

役 名	氏 名	会 社 名	役 職
理 事	黒田 剛司		理 事 長
理 事	余郷 達也	三和テクノ (株)	副理事長
理 事	石原 弘乙	(株) 石原印刷	副理事長
理 事	青木 啓	西尾張CATV (株)	副理事長
理 事	田中 正明	田中葬具店	副理事長
理 事	鈴木 吉男	(有) スズキ	
理 事	伊藤 哲朗	(株) 綿新商店	
理 事	長崎 秀典	(有) ながさき	
理 事	伊藤 基	(資) イトウ写真館	
理 事	早田 章	名西警備保障 (株)	
理 事	林 保	(有) 弘英社	
理 事	伊藤 博	伊藤写真	
理 事	川口 傑	三和テクノ (株)	
理 事	澤村 知伸	サワムラストジオ	
理 事	飯谷 貞次	愛西市中央図書館	
理 事	園田 俊介	津島市立図書館	
監 事	野々山 勝也	野々山会計事務所	